

## 6 洪水に対する安全度のさらなる向上

昭和58年洪水時の阪神電鉄橋梁付近

### 6 洪水に対する安全度のさらなる向上

## 洪水に対する安全度のさらなる向上

平成21年8月には、千種川水系の佐用川で、過去に経験したことのない大きな洪水が発生



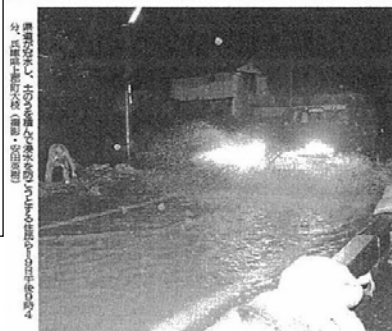
このような現実を踏まえると、多くの人口・資産を抱える武庫川では、河川整備基本方針の目標達成に向けて、洪水に対するさらなる安全度の向上が必要



千苅ダムの治水活用、武庫川峡谷での新規ダム建設等について、

- ①その必要性・実現可能性の検討を継続
- ②具体的な方向性が定まった場合には、計画上の取り扱いについて検討

### 兵庫各地で記録的豪雨



**県西部に避難**  
佐用町で2

県西部の豪雨で、佐用町では、千種川が氾濫し、多くの住民が避難した。佐用町では、千種川の氾濫で、多くの住民が避難した。佐用町では、千種川の氾濫で、多くの住民が避難した。

神戸新聞H21.8.10



## 7 動植物の生活環境の保全・再生

### 7 動植物の生活環境の保全・再生

武庫川水系に生息・生育する生物及び  
その生活環境の持続に関する2つの原則

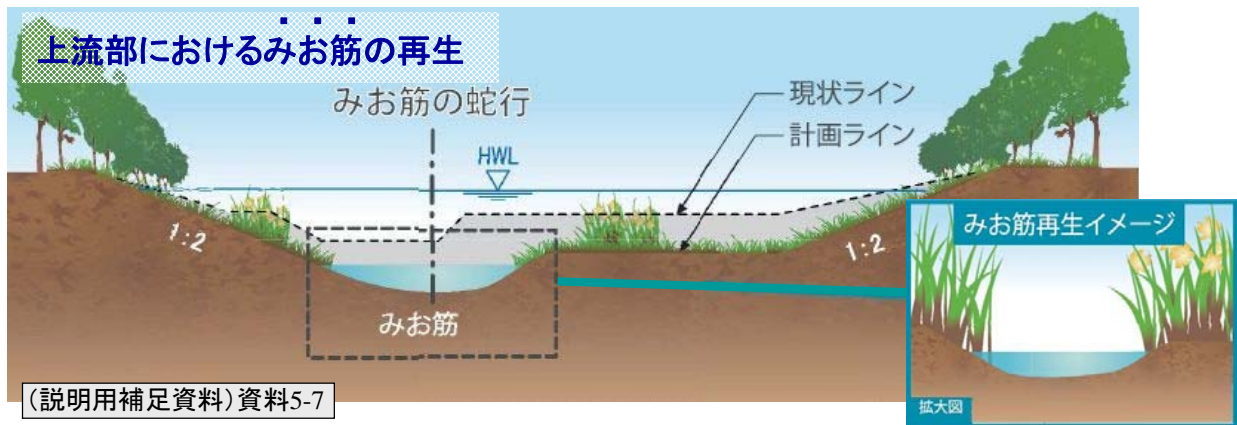
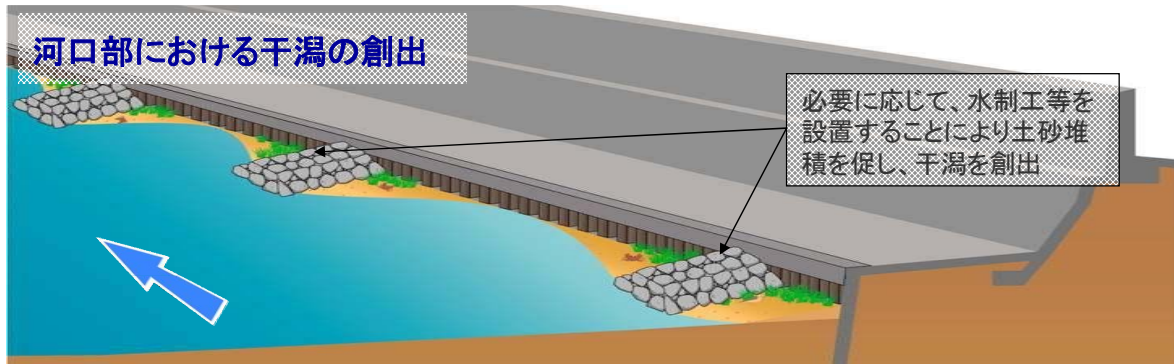
【原則1】流域内で種の絶滅を招かない

【原則2】流域内に残る  
優れた「生物の生活空間」の  
総量を維持する



河川整備の際には、この原則を踏まえ、  
河川環境の整備と保全を適切に行う。

## 「2つの原則」に基づく環境への配慮例



策定済

武庫川水系  
河川整備**基本方針**



平成21年3月  
兵庫県

長期的な最終目標



段階的に安全度を向上  
させる整備内容

今回

武庫川水系  
河川**整備計画**  
(原案)



平成22年1月  
兵庫県

(説明用補足資料)資料5-9

# 武庫川の総合的な治水対策 を進める3つの計画

- ①武庫川水系河川整備**基本方針**
- ②武庫川水系河川**整備計画**(原案)
- ③武庫川流域総合治水**推進計画**(県原案)

今回

武庫川流域  
総合治水**推進計画**  
【県原案】



平成22年1月  
推進協議会

兵庫県、神戸市  
尼崎市、西宮市  
伊丹市、宝塚市  
三田市、篠山市



## なぜ原案か

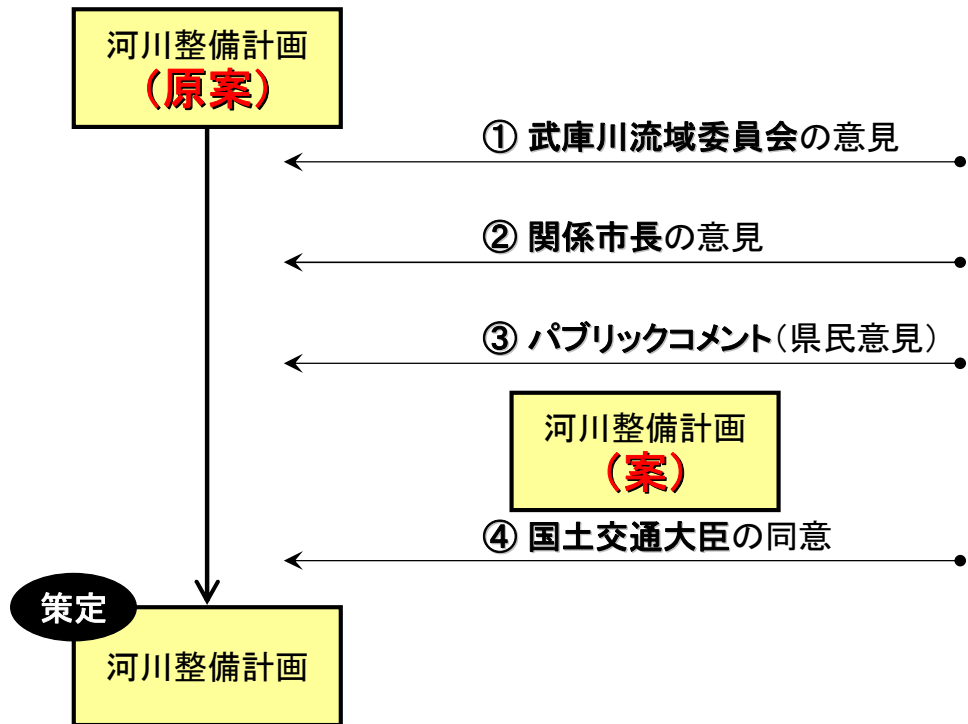
基本方針の目標達成に向けて  
概ね**20~30年間**で実施する  
河川整備の内容

今回

武庫川水系  
河川**整備計画**  
(原案)

平成22年1月  
兵庫県

# 原案から計画策定までの流れ

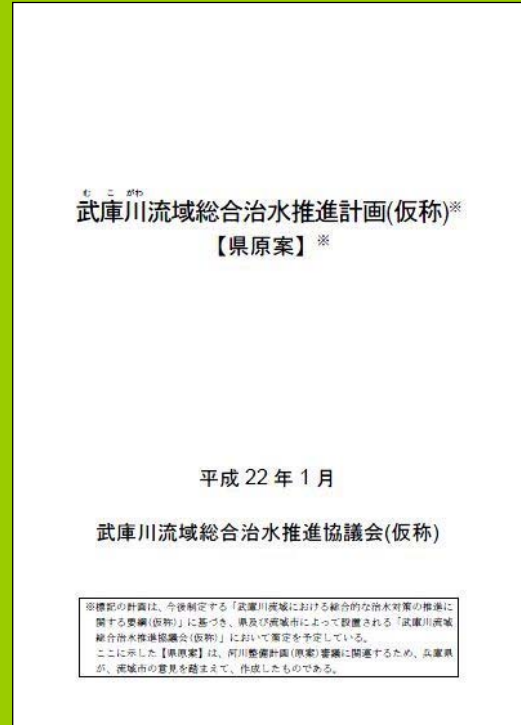
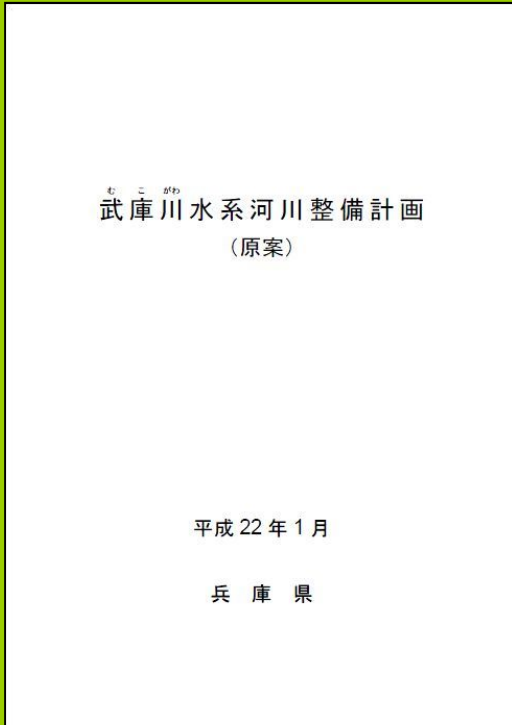


## 武庫川水系河川整備計画(原案)の構成

章構成	内容
第1章 はじめに	全体の要約
第2章 武庫川の概要	現状と課題
第3章 河川整備計画の目標 に関する事項	目標
第4章 河川整備の実施 に関する事項	実施内容

終

ここまでの説明内容を中心に、「河川整備計画(原案)」等を見ていただきながら、続けて説明していきます。



## 資料 1-2 武庫川水系河川整備計画（原案）に関する概算事業費について

---

### 要 旨

本資料は、河川整備計画（原案）の治水対策について、概算事業費の内訳を整理したものである。事業実施時には、現地状況を踏まえて詳細設計を行い、工法等を決定するため、記載の事業費は変更になることがある。



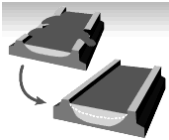
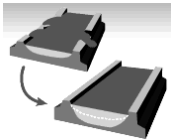
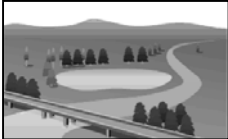

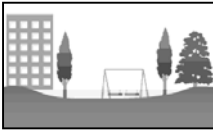
### 資料構成

武庫川水系河川整備計画（原案）に関する概算事業費について

武庫川水系河川整備計画(原案)等に関する説明用補足資料

## 武庫川水系河川整備計画(原案)に関する概算事業費について

武庫川水系河川整備計画(原案)に記載している事業の概算事業費は下表のとおり。

区分			概算事業費*
河道対策	下流部築堤区間	河道対策 	約160億円
		堤防強化 	約30億円
	下流部掘込区間	河道対策 	約60億円
	中上流・支川部		約70億円
洪水調節 施設の 整備	新規遊水地の整備 	約25億円	
	青野ダムの活用 	約5億円	
流域対策		約70億円	

※事業規模をわかりやすく示すため、概ねの事業費を参考に記載した。実施時には現地状況を踏まえて詳細に検討し、工法等を決定するため、記載の事業費が変更になることがある。



## 資料 1-3 平成 12 年の兵庫県表明に関する流域委員会開催までの経緯について

---

### 要 旨

平成 12 年に兵庫県は「合意形成の新たな取り組みを行うと共に、総合的な治水対策についてゼロベースから検討する」ことを表明した。本資料は、この表明から流域委員会の設置を経て河川整備基本方針の策定に至るまでの経緯を整理したものである。

### 資料構成

#### 平成 12 年の兵庫県表明に関する流域委員会開催までの経緯について

- 1 河川整備基本方針と河川整備計画
- 2 武庫川のこれまでの取り組み状況

平成12年の兵庫県表明に関連する流域委員会開催までの経緯について

第2回流域委員会

資料1

より抜粋

## 河川計画制度と武庫川の これまでの取り組み概要

- 1 河川整備基本方針と河川整備計画
- 2 武庫川のこれまでの取り組み概要

兵庫県

## 2 武庫川のこれまでの 取り組み概要



中上流部

武庫川溪谷

下流部

# 大正～昭和初期 の改修工事

(大正9年～昭和3年)

